

FRESH START!

株式会社 秋田ライト

事業承継のためにM&Aを経て 新たなスタート

株式会社 秋田ライト

取締役工場長
うつぎ すぐる
宇津木 優

〒018-0147
にかほ市象潟町字立石4-27
TEL:0184-33-8207
FAX:0184-33-8208
<https://rightmfg.co.jp/factory/akita/>



HP



小ロット・多品種の高精度板金加工

株式会社秋田ライトは、東京都板橋区に本社がある「株式会社ライト製作所」のグループ会社だ。その前身は平成2年に創業した、にかほ市で高精度板金加工を専門に行う「株式会社新田製作所」である。令和4年7月、新田製作所の前代表が事業継承を求めたことと、板金加工を自社で内製化したいという株式会社ライト製作所の思いがマッチングし、M&Aが成立、ライトグループの一員となった。社名変更は今年1月のことだ。取締役工場長である宇津木優さんに新たなスタートを切った同社の現状と今後の方向性についてお話を伺った。

「ライトグループは、医療機器、半導体製造装置、光学機器メーカーの受託開発・製造などを行っています。ライト製作所の板金加工を内製化することは、自社で一貫生産体制を築き効率化を図りたいということからでした。ここでは大きな一枚の金属を折り曲げて、溶接によって繋ぎ合わせてお客様から依頼されたパーツを作っています。一部量産にも対応していますが、自社の最大の強みは、小ロット・多品種・短納期に対応できることです」。

互いの強みを活かしてさらなる発展を

多くの板金加工業では量産には積極的だが、小ロットは受けたがらない。そのため、小ロットに積極的に対応することは他社と差別化を図ることができる大きなセールスポイントになる。

「図面を毎回読み込んで、新たに対応するのは手間がかかる。でも、試作品などは一つから注文されます。設計ミスの多くは実際に組んでから判明することがほとんどで、試作品の製造に対応することで、感謝されることが多いです。それに、うちはスピードでも他に負けません」。

ライトグループの一員になり、板金加工ができることはグループ全体の強みとなり、本社でもセールスポイントとして営業をできることになった。双方にとって販路拡大のメリットがあり、業務上の効率化においても、同様のことが言える。現在、指示書などは紙ベースだが、今年の秋にはグループのシステムが導入される予定。現場のDXが推進され、生産性を上げることに繋げていく予定だという。M&Aがもたらす効果は今後、同社を更なる前進に導くだろう。



図面を元にレーザーで金属板を加工している。



プレス機による曲げ加工。



折り曲げられた金属板を溶接で繋ぎ、完成に近づけていく。